

## 校章制定の由来

本校の校章は、地元の日本画家 関根将雄画伯に依頼し、図案を画いていただいたものです。

「太田道灌ゆかりの『山吹』の古事に依り、中央に大きくその花辦を置き、その両端より上部に向かう葉は『中』を囲む。即ち、城北に学ぶ生徒の盡きざる伸展・友好を 表徴 したるものなり」という意図で、校章が制定されました。

(昭和 46 年 11 月 8 日制定)

## 校歌制定の由来

本校の校歌は、地元の日本画家 関根将雄画伯の紹介で、浦和市在住の詩人 槙 皓志氏に作詞を依頼し、作曲は、初代校長 田島輝夫先生の知人、埼玉大学教育学部音楽科教授 折山俊也 先生に依頼して創られました。

歌詞は、四季を歌い、知・情・意を織り込み、白鶴城の伝統と若々しい生徒の羽ばたきを未来の成長につなげようという情想で作されました。曲は、歌詞と中学生の心情に合った軽快でしかも情緒豊かなものです。

(昭和 47 年 1 月 10 日制定)